



▲ホンハ村集会所での防災研修

大保木地区の住民が ベトナム・フエ大学と防災交流

京都大学大学院地球環境学堂と共同で防災や環境保全について研究しているベトナムのフエ大学へ大保木地区の住民など6名が防災研修に赴き、フエ大学の関係者や現地の住民と防災活動などについて交流を深めました。

大保木地区では平成16年の台風災害をきっかけに、防災活動を積極的に取り組んでおり、平成17年12月・平成19年7月にはフエ大学の教授や学生が、大保木地区へ台風災害地の視察と自主防災組織活動の現地研修に訪れています。

ベトナム訪問は6月4日から6日間の日程で行われ、お互いの防災知識や経験を共有し、有意義な訪問となったようです。

ベトナムを訪問して 大保木公民館 館長 丹 巡

昨年7月にベトナム国のフエ大学生10名が大保木地区へ防災研修に訪れ、大学生たちから来年はぜひベトナムに来てくださいと案内があり、今回、私を含む希望者6名が訪問しました。

目的地のフエ大学があるフエ市は、18世紀に都が置かれていた静かな街で、王宮群、寺院の町並みは一見の価値がありました。

私たちはフエ市から車で約2時間のホンハ村を訪れ、元村長を含む10名の住民と集会所で防災について語り合うことができました。ホンハ村は大保木と同じような山村で、人口約1,400人、周辺は植林した松に囲まれています。同世代で、しかも肩書きのない我々が訪問したことを、住民の皆さんに大変歓迎されました。

ベトナムは熱帯地方であるため、豪雨強風は当たり前というのですが、住民はよく団結しており、助け合い精神の強さを感じられ、防災の基本は住民の団結と助け合いであると再認識させられました。

今回の訪問にはフエ大学と京都大学の皆さんに大変お世話になり、この場を借りて心から感謝申し上げます。また、訪問の約束を果たせたことが一番うれしく思っております。

これをきっかけに、西条市とベトナムの交流が進展することを願っております。



▲ホンハ村の住民との記念撮影（左から3人目が丹館長）



◀今回の訪問に参加した山本貴仁さん（石鎚ふれあいの里代表）・茜さん（大町小4年）親子が、茜さんの同級生たちにベトナム訪問について発表しました。写真は、ベトナムの民族衣装について説明する茜さん。



▲堀場会長（前列右）、山本強審査委員長（前列左）との記念撮影

◀表彰式にて、堀場会長から記念の盾を授与される伊藤市長



今回の受賞は、市と(株)西条産業情報支援センターが取り組んでいる起業家育成・人材育成などの事業が評価されたもので、表彰式では、JANBOの堀場雅夫会長（(株)堀場製作所最高顧問）から代表者である伊藤市長へ、記念の盾が授与されました。

5月号の広報紙でお知らせしました、日本新事業支援機関協議会（JANBO）主催の「JANBO Awards 2007」で「新事業創出大賞」「起業醸成部門賞」に西条市産業情報支援センターが選ばれ、6月12日に東京で表彰式が行われました。

JANBOは、新事業の創出を目的に設置された産業支援機関などを会員とする全国組織で、新規事業創出活動の成果を広くPRするために「JANBO Awards」を実施しています。

JANBO Awards 2007 表彰式

西条市産業情報支援センターが 新事業創出大賞・起業醸成部門賞を受賞